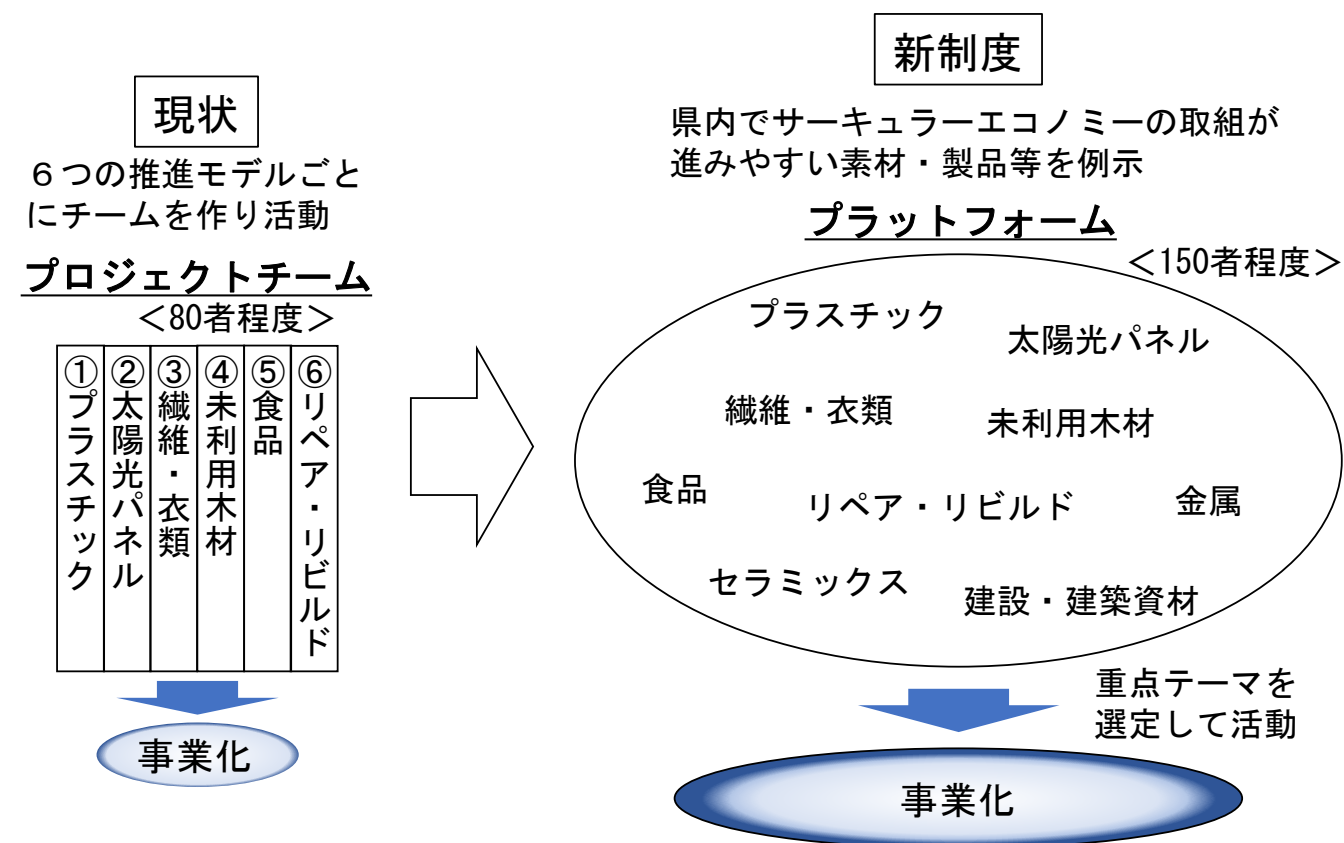


サーキュラーエコノミーの推進に係る事業化支援体制の強化について

1 経緯

- 「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」では、プラスチックや太陽光パネル等の循環利用を図るため、6つの推進モデルを創設し、そのモデルを展開するプロジェクトチームがサーキュラーエコノミーの取組を推進してきた。
- プロジェクトチームの設立から約4年が経過し、既存のモデル以外の取組や品目について循環利用を進めたい旨の問合せが増えている。このため、**現行のプロジェクトチーム制に代わり、より多くの取組を生み出す仕組みとして、来年度からプラットフォーム制を導入する。**



2 新たな支援体制

(1) プラットフォームの構築

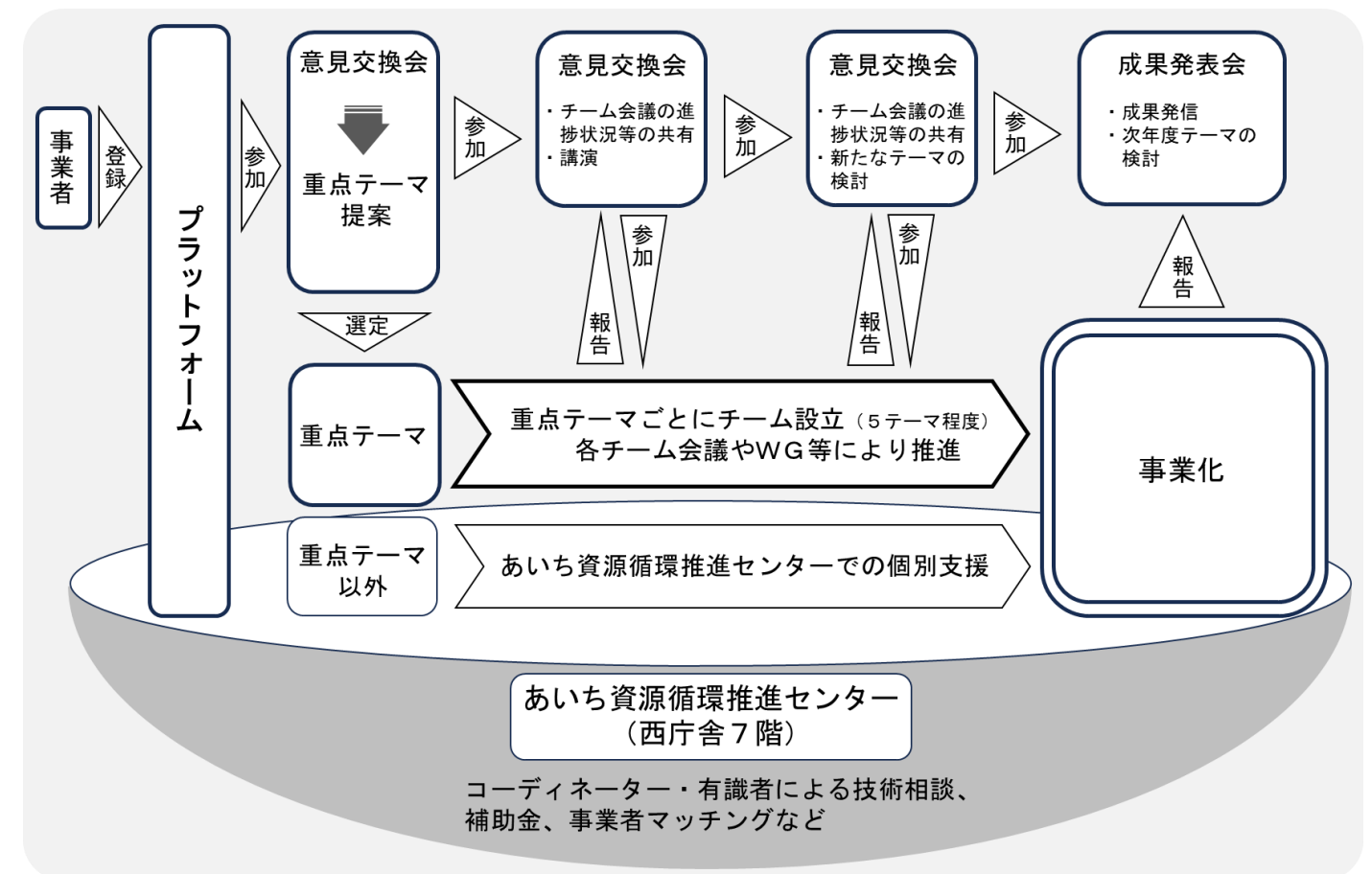
プラットフォームは登録制とし、登録事業者は意見交換会やチーム会議への参加資格、チーム事業に係る補助金の優遇措置が与えられる。

(2) 重点テーマに係るチーム設立

モデルを固定化せず、事業化を目指す素材、製品等から毎年、重点テーマを選定。テーマ毎に設立したチーム会議・ワーキンググループ等を通じ、事業化を目指す。

(3) 総合的な事業化支援

重点テーマ以外の事業化提案に対し、「あいち資源循環推進センター」を基盤にコーディネーター・有識者のフォローアップ等により、個別に支援する。



プラットフォーム制の導入により、
事業者の増加による異業種連携の強化、多様な循環ビジネスの創出を目指す